

—三里塚闘争50周年！ これからも闘うぞ—
農地を守り、沖縄・福島とむすぶ7・3東京集会

三里塚芝山連合空港反対同盟

2016年7月3日（日） （於）すみだ産業会館ホール

～集会プログラム～

- 映画上映 10:00 ～ 「三里塚の夏」
- DVD上映 「三里塚闘争不屈の50年」（ダイジェスト版）
- < 休憩 > 12:10 ～

- 集会開会・司会 12:40 萩原 富夫
- 主催者あいさつ 市東 孝雄 （北原メッセージ）

- ミニライブ 趙 博

- ゲスト・スピーカー 新崎 盛吾
天笠 啓祐

- 三里塚・市東さんのたたかい 市東 孝雄
顧問弁護団
市東さんの農地取り上げに反対する会
国鉄千葉動力車労働組合
全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部
全国農民会議

- キャンパ・アピール 宮本 麻子
- < 休憩 > 14:30～15分

- 司会交替 木内 敦子

- 沖縄・辺野古の海から 安次富 浩
金 治明

- 福島・反原発運動から 福島仮設住宅から・映像も
福島共同診療所・杉井吉彦
佐藤 幸子

- 「50周年アピール」（集会宣言）萩原 富夫

- 集会終了 15:55

三里塚闘争五十周年集会へのメッセージ

三里塚芝山連合空港反対同盟 事務局長・北原鉦治

本集会にご参集のみなさん、ご多忙の中お集まりいただきありがとうございます。



地元住民を無視した寝耳に水の7・4閣議決定の日から50年を迎え、三里塚闘争は今なお成田空港の完成を阻止し闘い続けています。71年2度にわたる強制代執行阻止闘争をはじめ国家暴力と真っ向から対決し、戦い抜いてきた50年でありました。この永い闘いの中で、3300人を超す仲間が逮捕され、その幾倍もの人びとが傷つき倒れました。全国からの労働者・学生・市民の長年にわたる力強い支援に支えられて、こんにちまで闘ってこれたことをあらためて感謝申し上げます。

空港が決定された当時はベトナム戦争で、羽田空港には米軍機が頻繁に飛来していました。反対同盟は羽田を視察し、以来「軍事空港反対」をかかげ反戦反核の闘いの先頭で闘ってきたと自負しております。最近の安倍政権の動向をみると再び戦争の危機が迫っていることをひしひしと感じます。

私は成田の第3滑走路建設策動が戦争攻撃と一体であることを訴えずにはいられません。子や孫の世代に絶対に戦争の惨禍を繰り返させない為にも私たちには重大な責任があります。市東孝雄さんの100年近く耕してきた農地を死守することは戦争への道を阻止する闘いでもあります。絶対に勝利しましょう。

私は残念ながら療養中で本日の集会に参加できませんが、これからも反対同盟は意気軒昂と闘い続けます。皆さんの絶大なるご支援を心から願います。

—三里塚闘争50周年！ これからも闘うぞ！—

農地を守り、沖縄・福島とむすぶ7・3東京集会アピール

1966年7月4日閣議決定から50年。地元住民を無視した暴力的な空港建設に反対し、「農地死守」を不屈に貫いて生き闘って勝利してきた50年です。成田空港は、いまだ完成していません。これは、闘う農民と労働者、学生、市民の共同の勝利です。この勝利を引き継ぎ、新たな闘いへ打って出ましょう。

50周年は、まだまだ通過点です。追い詰められた政府と空港会社は、24時間化とB滑走路北延伸、第3滑走路建設に向けて動きだしました。

この攻防の先端にあるのが市東孝雄さんの農地取り上げ問題です。三代100年耕し育てた農地は市東さんにとって命と同じです。「この地で生きていく」その心と生き方はカネに換えることなどできません。市東さんの譲れない思いは、多くの人々の共感を得て、支援の輪が全国に広がりつつあります。農地法による強制収用を許さない《最高裁・緊急5万人署名運動》をさらに拡大し、農地取り上げ判決の取り消しを勝ち取ろう！

そして本日の集会は、三里塚と沖縄・福島との連帯集会として開催し、国策と闘う強固な連携と陣形を築きました。先月起きた、沖縄での米軍属による女性暴行殺害という痛ましい事件を繰り返してはなりません。沖縄への差別と犠牲の押し付けを許さず、辺野古新基地建設阻止から「全ての基地撤去へ」と闘おう。

福島での放射能による健康被害は深刻です。子供たちの命を守る運動を支援し、国と東電の責任を追及しよう。すべての原発の再稼働阻止・廃炉へ闘おう。

世界の新自由主義・資本主義体制は崩壊の危機を深めています。立ち上がった韓国、フランス等の労働者のストライキ闘争を支持し、労農連帯・国際連帯の輪を広げていこう。

戦争と改憲、格差と貧困、国益・国策優先の安倍政権を、何としてもこの参議院選挙で打倒しよう。市東さんの農地死守へただちに立ち上がり、千葉地裁・最高裁闘争へ攻め上ろう。

《行動方針》

- ① 7・11(月)市東さん耕作権裁判・千葉地裁デモ (9時・千葉中央公園)
- ② 9・7(水)最高裁デモ&第3回署名提出行動
- ③ 10・9全国総決起集会

2016年7月3日 三里塚芝山連合空港反対同盟

【民主労総からのメッセージ】

<50年の三里塚農地死守闘争への連帯メッセージ>

50年の歴史的な農地死守闘争を展開する同志たちに尊敬の念を伝えます。

貪欲な政権と資本が向かうのは、終わりのない搾取と抑圧です。過去50年前の世代を引き継ぎ、守ってきた農地を‘強制収用’するという政権の行為は、不当な暴力だと考えます。世代を引き継ぎ、農地と共に生きて来た農民に対して、滑走路を拡大するという理由で強制移転を推進しようとしている現政権に対して、怒りを禁じえません。

国民と国策を言う安倍政権の政治は、国民の生存権を考えない行為であり、1%の持てる者たちの利益のために、労働者、農民が犠牲を強要されるものであり、団結した闘争で阻止しなければなりません。

韓国の民主労総組合員もまた、経済危機の責任を労働者民衆に転嫁しようとする政権と独占資本に対して、来る7月20日「終わらせよう財閥の世の中！」ゼネスト闘争を準備しています。また、最低賃金1万ウォン争取／「成果年俸制」「構造調整」阻止闘争などを展開しています。私たちは、この闘争の過程で同志たちと共に闘い、共に勝利するものです。

あらためて三里塚農地死守闘争50年を強く支持し、常に力強い連帯の意志を伝えるものです。

2016年6月27日 民主労総ソウル本部



反対同盟・動労千葉と民主労総との
交流会（2015年10月30日）

【集会賛同一覧】（五十音順）

<個人>

青木 健／青木 博（松江「精神病者」の会＝麦の会代表）／芦野雅春、純子／阿部啓輔（国鉄闘争全国運動・新潟 事務局長）／新井治／新井利江（婦人民主クラブ全国協議会群馬支部）／荒木（山谷労働者）／安藤眞一（牧師・三里塚決戦勝利関西実行委員会事務局次長）／池内了／内田ひろき／大野恭子／岡田雅宏／小川正治／小田基実夫（反戦自衛官）／鎌田雅志／川越啓子／川野純治（名護市議会議員）／川村理（弁護士）／神田広猛／菊池晴知／北島邦彦／木村郁夫（市東さんの農地を守る会・茨城）／木村陽子／小池 充／小関恭弘（全国農民会議）／小西弘泰（医師）／酒井信義／坂本進一郎／佐藤幸子（福島診療所建設委員会）／島あけみ／鈴木光一郎（全国農民会議共同代表）／武山正美／田中和恵／田中重文（動労千葉を支援する会・山陰 事務局）／田中 徹／樽文江／戸村義弘（日本キリスト教団三里塚教会信徒）／中島偉晴／永井 満（三里塚決戦勝利関西実行委員会代表世話人）／長沢 宏（全国農民会議福島支部）／並木美恵子／二階堂裕之／西村正治（弁護士）／根本敏子（元福島県三里塚実行委員会世話人）／野田浩二／橋本光一（動労福島委員長）／長谷川英憲（都政を革新する会代表）／林 寛明／藤井千賀子（三里塚市東さんの農地を守る会・福島）／藤原慶久／星野暁子／星野文男（国鉄新潟動力車労働組合執行委員長）／星山京子（靖国・天皇制問題情報センター）／堀内日出光／益永陽子／松原康彦／三角 忠／宮川 誠／宮城栄信（全国農民会議・沖縄）／宮本博志／三吉 明／村上周成／茂木康／元木智之（徳島医療福祉労働組合委員長）／元木美起子（徳島 星野文昭さんを救う会）／八十嶋敦子／矢田三恵（高陽第一診療所労働組合書記長）／山口敏昭／山本善偉

<団体>

3.11反原発福島行動実行委員会／愛知労組交

流センター／阿佐ヶ谷市民講座／尼崎・伊丹三里塚実行委／革命的労働者協会／関西新空港絶対反対泉州住民の会／共産主義青年同盟（学生班協議会）／群馬・市東さんの農地を守る会／公安警察解体！ 反弾圧・反警察運動／国鉄千葉動力車労働組合／国鉄動力車労働組合総連合／国鉄新潟動力車労働組合／国鉄水戸動力車労働組合／三里塚・木の根全国共闘／三里塚を闘う九州実行委員会／三里塚を闘う全国「障害者」解放委員会／三里塚芝山連合空港反対同盟顧問弁護団／出版最前線（序局編集委員会）／出版労働者連帯会議／手話講座実行委員会（代表 朝田しげる）／市東さんの農地を守る会・茨城／市東さんの農地強奪阻止 三里塚千葉実行委員会／新空港反対東灘区住民の会／スタンダード・ヴァキューム石油自主労働組合／泉州住民の会／全国水平同盟／全国農民会議／全国反戦青年委員会／全国労働組合交流センター／前進社／全金本山労働組合／全日本学生自治会総連合（委員長 斎藤郁真）／全日本学生自治会総連合（伍代委員長）／東海合同労働組合／東北大学学生自治会／とめよう戦争への道！百万人署名運動／動労千葉を支援する会／動労千葉を支援する会・山陰／二期阻止全国共闘／反安保労研全国センター／福岡・築港日雇労働組合（福日労）・柴田一（福日労委員長）／婦人民主クラブ全国協議会／婦人民主クラブ全国協議会関西ブロック／部落解放同盟全国連合会／部落解放同盟全国連合会茨城県連合会／北陸労働組合交流センター／星野さんを取り戻そう！全国再審連絡会議／みやぎ労働組合交流センター／靖国・天皇制問題情報センター

計 82名 48団体（非公表含む）

【賛同メッセージ】

三里塚芝山連合空港反対同盟顧問弁護団

三里塚農民 市東孝雄さんの命である農地の強奪を阻止し、勝利する闘いは、正念場を迎えました。労・農・学・市民の断乎として連帯した闘いがある限り、耕す者は必ず勝利します。弁護団は、市東さん、反対同盟、支援の皆さんと連帯して、裁判闘争で、現地闘争で、闘い抜きます。7・3東京集会の成功は、勝利への巨大な一歩です。共に頑張りましょう。

新井利江（婦人民主クラブ全国協議会群馬支部）

軍事空港粉碎、農地死守・実力闘争で50年間闘い続けてきた三里塚闘争は、今こそ全国・全世界にふきあれる新自由主義を打倒する砦です。共に闘い続けます。

戸村義弘（日本キリスト教団三里塚教会信徒）

「7月3日 三里塚空港闘争50周年」を人民闘争の成果として満腔の支援を送ります。

政府・空港当局は、いよいよ熾烈に燃え盛る抗議の礎（いしずえ）が沖縄基地・福島原発反対抗議と共に「正義と平和」にあることに着目し、これまで民力の圧殺に費やした政策を恥じ、今この機会にその収束と転換を図ることを決意すべきです。

国鉄千葉動力車労働組合

三里塚闘争50周年！

今も空港の完成を阻み続けている三里塚の闘いは、国家権力の全体重をかけたありとあらゆる攻撃をはね返して原則を守りぬき、労農連帯の絆によって団結をつよめ、闘争を高め合ってきた歴史でした。このことが生み出した闘いの強靭さこそ、50年にわたって勝利し続けている原動力ではないでしょうか。いよいよその真価が光り輝くときがきました。ともに勝利しよう！

3.11反原発福島行動実行委員会・椎名千恵子

三里塚反対同盟の闘いは「いのちの闘いの砦」です。いのちを踏みにじって「金もうけと利権」に走る国家権力に対峙して闘う者たちの原点です。それにならって、福島圧殺、3.11原発事故を無かったことにする安倍政権、国家権力に負けない闘いを続けていきます。共に頑張りましょう。

佐藤幸子（福島診療所建設委員会）

命を守る闘いは、権力に屈せず、三里塚・沖縄・福島が一つになった時、勝利する！

山本善偉

誇り高く「農地死守」を闘う市東孝雄さんを支えるためには、沖縄・福島・反原発・戦争の道につながる安倍政治に反対する人々と熱く結びあいましょう。

国鉄水戸動力車労働組合

50年成田軍事空港絶対反対の闘いに敬意を表します。

三里塚芝山連合空港反対同盟は、国策と真正面から闘い抜き、われわれ労働者に、いかに原則を曲げずに闘うことが大事かという事を教えてくれました。

今後も共に闘いたいと思います。労農連帯万歳！！

木村郁夫（市東さんの農地を守る会・茨城）

三里塚の農地死守のたたかいは、資本家による戦争を阻止し、労働者民衆の生命を守る50年であったと思います。このたたかいは、戦争と総非正規職化への怒り、沖縄・福島をはじめとする民衆の怒りを一つにすることができます。

私も三里塚闘争の勝利をかちとるために、共に闘い抜いていきます。反対同盟の皆さん、団結してがんばりましょう。

安藤眞一（牧師・三里塚決戦勝利関西実行委員会事務局次長）

7・3東京集会の成功を祈ります。

関西でも「三里塚闘争50周年」を祈念する集会を準備しています。「真理はあなたがたを自

由にします」との聖書の言葉は故・戸村委員長がたえず身につけていた決意だと思えます。

三里塚の正義と真理を広げ、市東さんの農地を守り、沖縄・福島の人々と共に闘います。

藤井千賀子（三里塚市東さんの農地を守る会・福島）

労働者にかげられた非正規化撤廃の闘い、反戦、反原発の闘い、世界中の人々が生きていく為に、今、求められている闘いの質は、三里塚闘争にあります。絶対反対を貫くことによって、勝利への道が開かれています。この闘いを、さらに、さらに、推し進めていきましょう。

田中重文（動労千葉を支援する会・山陰 事務局）

農地死守！ 軍事空港建設粉碎！

沖縄奪還・安保粉碎、日帝打倒！

全ての原発、今すぐ廃炉へ！ 日帝の核武装を許すな！

T P P 粉碎、農民切り捨て、農業破壊を許すな！

全ての力を結集して、安倍打倒・日帝打倒へ全力を尽くそう!! 時は今だ！

元木智之（徳島医療福祉労働組合委員長）

三里塚闘争の半世紀はまさに歴史的な闘いです。共に闘います。

元木美起子（徳島 星野文昭さんを救う会）

星野さんと共に三里塚農地をとりもどすぞ!!

動労千葉を支援する会

「農地死守」「空港絶対反対」の原則を貫いて50年勝利してきた三里塚反対同盟の闘いは、三里塚の闘いの中から生まれた国鉄分割・民営化絶対反対を闘う動労千葉とともに、日本の大衆闘争の宝であり、日本階級闘争の金字塔です。最後の勝利まで共に闘います。

青木 博（松江「精神病者」の会＝麦の会代表）

国策としての攻撃に50年闘い続け、今も生き

生きと闘い、光を輝かせている反対同盟に敬意を表します。

国策としての攻撃は、国鉄分割・民営化もそうですし、沖縄の基地もそうですし、原発の問題もそうですし、また戦争もわかりです。

共に1%の大資本—国家を打ち倒して、労働者人民の世の中をめざして、闘っていきましょう。

国鉄新潟動力車労働組合

三里塚闘争50年、国鉄30年、絶対反対の闘いが改憲・戦争への道を止めてきました！

この時代こそ、労農連帯で闘おう！

阿部啓輔（国鉄闘争全国運動・新潟 事務局長）

70年代の鉄塔決戦から支援してきました。それは戦争絶対反対の闘いとして、三里塚闘争が希望の星だったからです。ますますその意義は鮮明となっています。動労千葉との労農連帯の闘いを一層発展させて、戦争を改憲を阻止し、勝利しましょう。

橋本光一（動労福島委員長）

「三里塚 市東さんの農地を守る会・福島」を結成しました。労農連帯で勝利しよう。

長沢 宏（全国農民会議福島支部）

三里塚闘争は私にとって原点ともいえるべき闘いです。今後も反対同盟の皆さんと共に闘っていきます。

鈴木光一郎（全国農民会議共同代表）

労農連帯の力で必ず農地を守りましょう

星野文男（国鉄新潟動力車労働組合執行委員長）

50年の勝利の地平から改憲と戦争、労働者・農民の団結破壊と闘おう！

群馬・市東さんの農地を守る会

1950年代から足尾鉍毒との闘い、そして50年代に表面化した安中カドミウム公害と八ッ場ダム反対運動。

これらが多くの農民と労働者・学生の心を集めながら、「裁判と選挙」にのみ運動がせばめられようとされる中で、「農地死守・実力闘争・労農学連帯」をかかげた三里塚との出会いが、闘いに生命をふきこんでくれました。

高崎経済大学学生自治会副委員長だった星野文昭さんを先頭に70年－71年の代執行攻撃と全力で闘い、79年に「三里塚を闘う全群馬実行委」、2006年に「群馬・市東さんの農地を守る会」を結成し闘ってきました。その中で70年代末の動労千葉のジェット闘争は群馬の労働組合に大きなインパクトを与え、今日の闘いの基本的な原型をつくる基になりました。

群馬・市東さんの農地を守る会は、本日の集会を新たな出発に、市東孝雄さんをはじめ、反対同盟の皆さん、全国の仲間と共に闘いぬくことを決意します。

酒井信義

三里塚の農地を守る闘いは心に訴え、刻み続けています。

※農地こそ我が命！

東北大学学生自治会

国家権力と50年間も闘い続けている三里塚闘争と反対同盟の方々に敬意を表します。

三里塚闘争は、すべての農民の怒りを体現する闘いであり、沖縄や福島をはじめ戦争や原発に反対する学生、労働者の怒りと一つの闘いです。共に勝利まで闘い続けます。

福岡・築港日雇労働組合（福日労）・柴田一（福日労委員長）

市東さんの農地取りあげに絶対反対です。それも農地法による農地強奪など絶対に許せません。実力阻止あるのみです。いざことあれば、三里塚現地にかかけ共に闘います。

5月11日未明の午前4時、福岡市はみどり整備課を先頭に5～60名の市職員、清掃労働者、福岡県警公安15～6名で出来町公園を急襲し、公園の野宿労働者3人を暴力的に叩き出しました。怒り心頭です。絶対に許さない！徹底反撃します。炊き出しはなんとしても継続し闘いま

す。叩き出された仲間たちは即日、生活保護要求し、闘っています。福岡市長・高島宗一郎(092-711-4111)、福岡市みどり整備課長・吉原(092-711-4410)に抗議の嵐を！三里塚決戦勝利！安倍連合政府打倒！

スタンダード・ヴァキューム石油自主労働組合

「農地死守」「空港廃港」を貫いて50年間闘い続けている反対同盟の皆さんに敬意を表します。まさに「反戦の砦」として、その闘いは全国の農民運動、住民運動の支えになっていると思います。また、動労千葉との「労農連帯」は労働運動にも大きな影響を与え、三里塚闘争が労働運動の課題に据えられ、多くの労働者・労働組合が三里塚闘争に参加するようになりました。一口に50年と言いますが、この50年の間には、政府・空港公団による執拗な切り崩し攻撃、国家権力による凶暴な弾圧、そこから生まれた同盟内からの裏切り・反動、これらと対決して筋を曲げずにここまで闘い続けるのは並大抵のことではありません。今日、市東さんの農地強奪を許さず、文字通り「農地死守」の闘いの原点に立ち切って、「国策」に立ち向かっている闘いは、一人市東さんの闘いではなく、全ての農民・労働者・人々の闘いにして行かねばなりません。私たちも市東さんの闘いに連帯し、反対同盟の皆さんと共に戦争を阻止する闘いを作り出して行く決意です。

小田基実夫（反戦自衛官）

萩原さんの「今までのカベをうち破ろう」「今までのことは一旦おいて…どンドン広がって、市東さんの農地を守る」という3・27集会での訴えに展望を感じます。この闘いに歩みだす集会として大成功かちとりましょう。

部落解放同盟全国連合会茨城県連合会

三里塚を軸に、新たな全国的運動をつくり出していきましょう。ともに闘います。

小西弘泰（医師）

「“農地死守”という闘いの原点に立ち返り、一人でも多くの人に広めてゆこう」という3・

27集会での萩原富夫さんのアピールは全くその通りだと思います。このアピールの精神ががんばれば、必ず勝つことができると確信しました。

三里塚・木の根全国共闘

1979年12月に、いまの全国共闘につながる三里塚・木の根共闘が結成されました。反対同盟は今年で結成50周年を迎えました。私たちは、「空港絶対反対」「農地死守」「非妥協実力闘争」をかかげる反対同盟と一進一退をともにしてきました。三里塚50年は、実力闘争・武装闘争と全国の闘う仲間との共同闘争として闘われてきました。その共闘を私たちは、革命的労農水「障」学共闘と表現し、自らの解放をかけた闘いとして、あらゆる抑圧・差別・排外を許さず、闘いぬきたいと考えています。

三里塚は反戦・反権力の砦として前進してきました。戦争とファシズムに突き進む安部連合政府打倒を闘うあらゆる人民の闘う拠点です。いま、市東さんの農地死守決戦の時を迎えています。私たちはさらに、反対同盟との連帯を強め、三里塚50年の闘いを引き継ぎ、さらに前進・拡大し農地強奪を実力ではね返し、三里塚闘争の勝利—人民抑圧空港廃港にむけて闘いぬく決意です。ともに闘いぬきましょう。

公安警察解体！ 反弾圧・反警察運動

三里塚闘争50年は、全体重をかけておそいかかる敵の破壊攻撃・弾圧との不退転の闘いの歴史です。

5年前、3・11から2ヵ月後の5月20日、現闘本部控訴棄却（仮執行宣言付）に抗議する反対同盟と支援の闘いに、東京高裁と警視庁は8名の反対同盟員を含む50名の大量逮捕弾圧を強行しました。その直後に開いた私たちの反弾圧集会に、事務局次長の故萩原進さんは、「反動判決に頭をたれて帰るといふ屈辱的な構図をあの闘いをもって打ち返した」「反弾圧とは、まさに体を張って闘って打ち返すということ。それ以外にない」と、熱いメッセージを寄せられました。ここに、三里塚闘争と反弾圧闘争の核心が喝破されています。

弾圧を粉碎し、市東さんの農地強奪を実力阻止し、空港廃港まで共に闘います。

完黙—非転向・転向攻撃粉碎の攻勢的獄中闘争で、断固弾圧を粉碎します。

根本敏子（元福島県三里塚実行委員会世話人）

三里塚闘争の勝利は、亡き夫の願いでした。集会の成功を祈っています。

全国水平同盟

空港絶対反対を貫いた反対同盟の50年の闘いに心から敬意を表し、勝利の日までともに闘うことを誓います。国家暴力と「農地死守・実力闘争」の原則で闘い抜いてきた三里塚闘争は、反戦・反核の闘いの砦であり、労農連帯の団結の要です。

私たちは、三里塚闘争が切り開いてきた地平にたつて、住宅追い出しの強制執行と立ち向かい、団結を拡大し、裁判所が「強制執行を取り消す」というところまで敵を追いつめてきました。西郡の実力決起が高槻、京都の闘いにつながり、新自由主義と闘う新たな解放運動が本格的に始まっています。

三里塚闘争50年の不屈の大地は、まさに闘いの連帯と団結の大地です。市東さんの農地を守り、第三滑走路建設計画を粉碎し、空港廃港まで共に闘いましょう。

婦人民主クラブ全国協議会

三里塚闘争50周年に寄せて

戦後71年。その中で三里塚闘争50年。間違いなくこの国のあり方を根底から問い続け、世界に発信し続ける誇るべき闘争です。「軍事空港反対、農地死守、実力闘争」を掲げて国策と対決する姿に、労働者が応え、学生が命をかけてきました。三里塚反対同盟の旗の三つの輪は労農学を表している通りです。

そして、大木よねさんの「闘争が一番楽しかった。もう、おらの身はおらの身であっておらの身でねえだから、おら反対同盟さ身預けてあるだから・・・反対同盟や支援の人達と反対闘争やってきたんだから、誰がなんといっても、こぎつけるときまで頑張ります」の言葉や

「一寸の虫にも五分の魂」「1億八千万の金より一本百円の大根」という市東さんはじめ三里塚農民の心底からの訴えに私たち婦人民主クラブ全国協議会も全存在をかけてきました。三里塚の行く道の選択は全てをふるいにかけてきました。政府は堅固な労農同盟の団結を恐れ、破壊するためにあらゆる攻撃をしかけてきました。1980年代の3・8分裂の攻撃は私たち女性団体の有り様も問いました。国家権力と実力で闘うことを否定した婦民本部派と対決した私たちは、本部派による処分を受けましたが、それを乗り越え分離独立をなしとげました。この決断によって私たち婦人民主クラブ全国協議会は今立っています。

「戦後政治の総決算」を掲げた中曽根元首相の国鉄分割民営化や三里塚闘争破壊、男女雇用機会均等法攻撃は一体でした。ここで「絶対反対」を貫いてこれたからこそ、改憲・戦争をここまで阻み、今闘っている！支配者どもの危機を作り出し、追い詰めている！国際連帯を勝ち取れている！素晴らしいではないですか。

私たちは、米軍や自衛隊の演習を体をはって阻み続けた北富士忍草母の会や、ここ三里塚の婦人行動隊に習い、子どもを背負い三里塚に通い続けてきました。三里塚闘争で育った娘や息子たちも続いています。

今「保育園落ちた。日本死ね！！」や「非正規職撤廃！生きさせろ」や、福島・全国の全原発廃炉の声、沖縄の米軍属による女性殺害事件への怒りー「基地全面撤去！海兵隊撤退！」の6万5千人の決起のように、安倍政権・支配階級への私たち労働者民衆の怒りはますます広がっています。支配者どもは、この怒りを抑えこむことは出来ません。三里塚の勝利の教訓はこれからが本当に輝きを表すでしょう。軍事空港粉砕！不屈・非妥協でこれからもともに頑張ります。

北陸労働組合交流センター

労働者と農民の連帯で三里塚闘争勝利まで共にたたかいます。

みやぎ労働組合交流センター

市東さんの農地を守りぬくぞ！

反戦の砦・三里塚と共に朝鮮侵略戦争阻止！
労農連帯の力で社会を変革しよう！

市東さんの農地強奪阻止 三里塚千葉実行委員会

農地強奪を許さない闘いを全力で闘います。

三里塚を闘う全国「障害者」解放委員会

三「障」委は結成以来、「障害者」「病者」解放闘争と三里塚闘争を結合して、差別実力糾弾・反権力の闘いを推し進めてきています。

市東さんの農地強奪裁判では千葉地裁、東京高裁の車イス差別傍聴制限に対して反対同盟の萩原さんや、支援連とともに一步も退かず弾劾して闘いました。また昨年6月に反対同盟と交流会をもつことができ、決戦に向けての決意をあらためて固めています。この交流会の際、三「障」委は農地決戦を実力で闘うことを前提で、「『障害者』もいる実力闘争を」と決意を明らかにしています。

反対同盟50年の実力闘争・非妥協の闘いに学びつつ、差別糾弾と三里塚闘争を闘っていきます。そして戦争下、真っ先に狙われる「障害者」「病者」の差別虐殺を許さず、三里塚現地はもとより、地域や施設、病院でもともに三里塚決戦を闘います。

手話講座実行委員会（代表 朝田しげる）

「一般刑事犯」として、刑務所暮らしを何回もくり返す人生を送っていた私が、救援連絡センターから三里塚野戦病院に来て40年になろうとしています。「障害者」でもある私が小川徳太郎さん・晃男君はじめ反対同盟とともに「障害者」解放と三里塚闘争勝利を掲げて1977年に手話実を結成し、実力闘争を闘ってきました。今、いよいよ迫ってきている市東さんの農地死守の決戦を、体をはって「障害者」を先頭に、私も車イスで闘います。

三里塚50年の闘いは3・8脱落などいろいろありましたが、反対同盟は一貫して実力闘争で、一切の「話し合い」を拒否して、国家権力と闘いつづけ、そして市東さん決戦に勝利し、

空港を粉砕してこの世の中を変えようと全国に呼びかけています。私も野戦病院を防衛し決戦を闘います。全国のみなさん、ともに闘おう！

全日本学生自治会総連合（伍代委員長）

東京高裁の不当判決から1年。市東さんの農地強奪が強まっています。全学連はこれを許さず、農地死守決戦を闘います。

全国反戦青年委員会

三里塚闘争50ヶ年、半世紀に及ぶ実力闘争・武装闘争の歴史に最大限の敬意を表し、この闘いを発展させる決意も新たに連帯を表明します。

全国反戦青年委員会に結集する労働者は、三里塚闘争開始より反対同盟とともに実力武装の闘いにたちあがってきました。反対同盟から多くのことを学び、これを職場・生産点・地域・街頭での闘いに持ち帰り、団結と闘いの発展の糧としてきました。これからも反対同盟や三里塚の闘いに学びながらみずからのさらなる飛躍と発展に繋げていこうと決意しています。三里塚闘争の最後の勝利の日まで共に闘いぬきましょう。

改めて言うまでもないことですが、三里塚50年の闘いは反対同盟の“一切の話し合いに応じず”、“農地死守”、“徹底非妥協実力闘争”の闘争スローガンに貫かれた日帝足下労働者人民の金字塔的な闘いです。この闘いが、闘争破壊に身構える敵=日帝国家権力や資本の密集態勢を引き出し、しかし、これに屈することなくうち破ってきた。まさに“闘えば必ず勝つ”、ということの一つ一つの実戦を積み重ねるなかで示してきた闘いです。

この誇るべき闘いに自らが結集していることの喜びをかみしめるとともに、みなぎる闘志と緊張感を感じながら、この闘いの歴史を引き継ぎ発展させていくことを自らの使命とする決意に燃えています。

日帝政府と空港会社は市東さんの農地強奪の攻撃を徹底して強めています。この攻撃を断じて許すことはできません。三里塚空港は、農

業破壊と戦争出撃・兵站拠点建設のために建設がもくろまれた反革命人民抑圧空港です。安倍連合政府の戦争・ファシズム改憲攻撃は、このもくろみの達成のために一段と反対同盟-三里塚闘争破壊の攻撃を強めています。市東さんの農地を強奪し、「第三滑走路建設に一気に突き進むことを絶対に許すことはできません。

今夏、今秋、市東さんの農地強奪阻止決戦が決定的に煮詰まりを迎えようとしています。この闘いに全力をつくし、必ず勝利をもぎとり「第三滑走路」計画を木っ端微塵にうち砕こう。実力・武装の闘いを高揚させ空港廃港の道筋を照らし出そう。

「第三滑走路」攻撃のなか、利権に群がる右翼ファシスト団体が用地内への跳梁を強めています。反対同盟や三里塚闘争に対し露骨な悪罵をわめきちらすファシストを撃滅しよう。

三里塚闘争の実力・武装闘争の爆発こそが安倍連合政府を打倒する最大の力になります。沖縄、福島など国策と対決する労働者人民、差別排外主義と闘う被差別大衆・人民との階級的共同の闘いをさらに推し進めよう。今夏・今秋決戦の爆発で安倍連合政府の戦争・ファシズム改憲攻撃を粉砕しよう。

反安保労研全国センター

農地強奪攻撃を許さない闘いを反対同盟に連帯して闘いぬきます。

三里塚を闘う九州実行委員会

50年も不屈・非妥協で闘い続ける三里塚闘争は、反戦・反権力の闘いの砦であり、希望です。市東さんの農地強奪を許さず共に闘います。

とめよう戦争への道！百万人署名運動

戦争阻止の原点は国家権力と不屈非妥協で闘うことにあると思います。だから三里塚闘争がすばらしい。これは全世界にほこれる闘いです。

婦人民主クラブ全国協議会関西ブロック

市東さんの農地を死守しよう！

朝鮮侵略戦争を労農連帯・ゼネスト・国際連

帯で阻止しよう！

安倍打倒！

命より金もうけの民営化・外注化・非正規化を団結でひっくりかえそう！”

宮城栄信（全国農民会議・沖縄）

三里塚闘争50年、戦争のための軍事空港建設に不屈に闘いぬき、勝利しぬいてきたことに敬意を表します。

市東さんの農地とりあげを絶対に許してはなりません。労農連帯の力で絶対に阻止しよう！

沖縄闘争も6・19県民大会6万5千人の怒りの結集で新たな段階に入りました。非正規職撤廃・全基地撤去の全島ゼネストが求められています。

三里塚一沖縄一福島を結んで、朝鮮侵略戦争阻止・安倍打倒をかちとろう！

長谷川英憲（都政を革新する会代表）

50年の不屈の闘う歴史を刻んだ三里塚闘争。戦争と貧困の新自由主義を打ち倒す拠点、労農連帯の拠点として、労働者人民の勝利の新たな歴史に挑戦しましょう。杉並もともに闘います。

藤原慶久（69年4. 28沖縄闘争破防法被告）

反対同盟と労働者人民が、50年間闘い続け、勝利してきた地平の上に、今こそ市東さんの農地を絶対に守り抜き、第三滑走路建設を阻止しましょう。

三里塚闘争50年の歴史は、「空港絶対反対」「一切の話し合い拒否・農地死守・実力闘争」を貫き、日帝国家権力のあらゆる攻撃を打ち砕いてきた、絶対反対同盟の不屈の闘いの歴史です。それは、動労千葉と反対同盟の労農連帯、労農同盟の歴史でもあります。ここに勝利の展望があります。

それはまた、反対同盟・三里塚闘争が、動労千葉・国鉄決戦と共に、日帝の新自由主義攻撃を打ち破ってきた輝かしい勝利の歴史です。

今世界大恐慌の本格的激化のなかで、新自

由主義が全面的に崩壊し、世界核戦争の危機が切迫し、朝鮮侵略戦争が急迫しています。戦争か革命かの時代です。世界も日本もゼネスト情勢、革命情勢に突入しています。一貫して反戦・反権力の砦として闘い抜いてきた三里塚闘争が、全国の闘う労働者人民を結集して勝利する時代が到来しました。

三里塚闘争50周年7・3東京集会を大成功させ、参院選決戦に勝利して、三里塚闘争の新たな発展をかちとりましょう。

反対同盟と韓国民主労総との国際連帯の力で、成田軍事空港を粉砕し、軍事使用目的の第三滑走路建設を阻止し、戦争のための市東さんの農地強奪を阻止しましょう。

5万人署名を達成し、農民の生きる権利、耕す権利を否定する東京高裁の農地法による農地強奪の反動判決を、最高裁に破棄させ、最高裁決戦に勝利しましょう。

北原敏治事務局長、市東孝雄さん、萩原富夫さんを先頭に、日帝・安倍の改憲と戦争の政治に怒りを爆発させる沖縄、福島と連帯し、成田空港廃港・三里塚闘争勝利へ共に前進しましょう。

志半ばにして倒れた反対同盟の戸村一作委員長、萩原進事務局次長、市東東市さん、鈴木幸司さんと謙太郎さん、三浦五郎さん、郡司とめさん、宮本嘉さん、大木よねさんたち、そして、中野洋動労千葉前委員長を初めとする無数の労働者、学生、農民、市民の遺志を受け継ぎ、必ず市東さんの農地を守り、三里塚闘争に勝利しましょう。

市東さんの農地を守る会・茨城

三里塚闘争50周年7・3東京集会開催おめでとうございます。三里塚・芝山連合空港反対同盟皆様の日々のご活躍に敬意を表します。

1966年7月4日、当時の佐藤内閣による新国際空港建設、閣議決定強行からまる50年、節目のこの日の集会開催はあらためて半世紀を闘い抜いてきた反対同盟皆様の団結の強さを実感致します。

50年に及ぶ国家権力と成田空港会社との死

闘は、まさに生き死にを掛けた闘いだと思えます。農民から農地を奪うという事は死ぬと言っているに等しいものであり、労働者への首切りとまったく同じ攻撃です。「資源」というものが殆ど無いに等しい日本で、資源といえば豊かな自然であります。私たちはこの豊かな自然を利用して今日まで生きて来たのです。国家政策による自然破壊や TPP 政策は自分の首を絞めている様なものです。なによりこの農地強奪攻撃は、反戦の砦として戦争を阻止し抜いてきた反対同盟を、なにがなんでも解体しようとする攻撃です。私たち「市東さんの農地を守る会・茨城」は、反対同盟とさらにさらに団結して共に闘い抜く決意です。

市東孝雄さんが仰った「1億8千万円の金より1本100円の大根を作り続ける」と言う言葉は、市東さんの野菜作りに掛ける情熱と、反対同盟の原則を貫いた歴史が伝わる言葉です。市東さんの想いも含め三里塚農民と一つになり労農連帯で三里塚闘争をぶち抜きましょう。

私たちは昨年3月、労働組合が主軸となる「市東さんの農地を守る会・茨城」を発足させました。その意義は反対同盟と固く団結して三里塚闘争を闘うことで、闘う労働組合の復権、階級的労働運動の拠点を建設することにあります。日本の労働運動は国鉄分割・民営化以来その多くが団結を破壊され、衰退を余儀なくされてきました。さらには労働組合の名をもって改憲や徴兵制を推進する勢力まで登場しています。私たちはこの労働運動破壊、団結破壊と断固対決し、人々が協力し共に支えあって社会を動かしていくために、「市東さんの農地を守る会・茨城」を発展させていきたいと思っています。その道筋は、反戦・反権力の砦として「農地死守・実力闘争」を貫き、50年に渡り闘い抜いてきた反対同盟を手本として共に闘い抜き、動労千葉が切り開いてきた階級的労働運動を全国・全世界の労働者階級人民に知らしめ、団結を拡大することだと思えます。三里塚闘争の勝利と労働者階級の闘いの勝利は、まさに一体のも

のです。安倍政権の戦争・改憲、TPP、原発再稼働、総非正規職化を打ち破り、人民の砦・三里塚闘争に勝利しましょう。私たち「市東さんの農地を守る会・茨城」は反対同盟を守り抜き、農地強奪を阻止するために共に闘い抜いていきます。

2016年7月3日

鎌田雅志（元全学連委員長、1985年10・20三里塚闘争統一被告団長）

「農地死守・実力闘争」「一切の話し合い拒否・空港絶対反対」を貫いて、三里塚闘争は、圧制を倒す革命権を現代に復権させました。労農連帯の旗を掲げて、全学連、革命党派との共闘関係を確立し、労働者階級と一体となって闘ってきた。闘争を裏切り破壊しようとするものたちは、三里塚闘争を階級闘争と切断することに腐心したし、そこにつけこんで政府・空港公団や空港会社は条件派工作を執拗にくりかえしました。でも、労働者が組織的に立ち上がれば三里塚は絶対に勝つという展望を、動労千葉が示しました。

そして30年前に、三里塚と動労千葉は、もうひとつ歴史的な闘いの火蓋を切りました。中曽根による新自由主義攻撃「戦後政治の総決算」の出鼻をくじいた、1985年10・20三里塚闘争と動労千葉の2波のストライキです。

「あの時大学1年生でしたが、30秒でオルグされました」と、機動隊との戦闘で重傷を負った人が言いました。そういう力が、三里塚闘争にはあります。私は三里塚闘争から生まれ、三里塚闘争で育ちました。ともに革命を！

文昭と共に三里塚に行きます

星野暁子

北原鉦治さんに星野文昭の面会に行っていたから、9年になります。「三里塚に来いよ」。力強いその言葉は、文昭を心底から励ましました。

三里塚闘争は、50年を迎えました。反戦の砦として、日本の労働者民衆の先頭に立ってきました。文昭も41年の獄中から心を寄せ、

一体に闘ってきました。

市東さんの土地に植えていただいた「星の木」も本当に大きく成長しました。

一口に50年と言っても、国家権力に日常的に抗して、闘い抜くのはどのくらい大変なことか分かりません。三里塚闘争が、今ここに あることで、どれだけ大きな勇気を闘う一人ひとりに与えていることでしょうか。金ではなく大根一本を選ぶ市東さんの闘いは、人間にとって生きるために何が大切なのかを、示してやみません。

50年になる三里塚闘争を、反戦と生命の砦として、これからもともに進みます。

三里塚農民と労働者人民の未来をかけて 勝利しよう

星野文昭（徳島刑務所在監）

50年を迎えた三里塚闘争は、農民の農民魂と労働者人民の未来をかけて、アジア・世界戦争への巨大軍事空港を絶対に粉碎しようと、幾多の分断や破壊、困苦を、勝利のための糧としてのりこえ 発展してきました。

それは今日、労働者人民からの搾取、収奪の末に巨大な過剰資本を蓄積し大恐慌を生み、資本・国家間の争闘戦が死闘化して、東アジア・中東・ウクライナを焦点に世界戦争化し、米韓に日帝も加わる形で「5015」作戦による朝鮮侵略戦争が切迫化し、そのための巨大軍事空港、そのための市東孝雄さんの耕作権を否定した農地強奪、第三滑走路攻撃を粉碎する闘いへと発展しています。安倍の戦争・改憲を粉碎し、全世界の労働者人民の団結した力で、戦争、新自由主義に延命をかける資本・権力の世の中を根本から変える闘いへと発展しています。

そのような闘いとして、三里塚闘争を、市東孝雄さん、反対同盟と共に、全ての労働者人民の団結した力で発展させ、勝利をかちとっていこう。

その闘いを圧殺しようとする星野無期・41年投獄を全ての労働者人民の団結・未来をかけて、100万人全証拋開示署名、再審・解放をかちとり、打ち砕き、闘いの勝利をかちとっ

ていこう。

山口敏昭（市東さんの農地を守る会・新潟）

三里塚闘争50年の闘いに心から敬意を表します。

反対同盟が闘い続ける限り、三里塚闘争は勝利しています。ともに闘い抜きたいと思えます。

私が三里塚闘争と出会ったのは、大学に入った時で開港阻止決戦の直後です。農家の長男に生まれ、いずれ農業を継ぐつもりでいましたので、一度見に行かなければと集会に参加しました。以後、大学の寮とキャンパスで二期決戦を闘ってきました。いま思い返すと、「反戦・反権力の砦＝三里塚闘争」の位置はものすごいものがあります。80名弱の大学の寮から、現地集会に毎回、半数近くの学生が参加していました。この並外れた動員力は、三里塚闘争の正義性があったからです。三里塚農民の正義性は、すべての労働者人民を獲得する内容をもっています。

戦争へ突き進む安倍政権を打倒しろはトキの声です。今こそ三里塚闘争をもっと光輝かせ、日本の戦争反対の闘いの軸にしていきましょう。50年の闘いの地平に自信をもって進みましょう。誰も真似できないのですから。労農連帯の旗を高く掲げ、日本の労働者民衆の闘いの先頭に、これからも立ち続けましょう。

小川浩（全国農民会議・共同代表）

三里塚闘争は50年、半世紀にわたり成田空港建設を阻み続けてきた。私は成田空港問題が起きた頃、就農した。三里塚闘争とのかかわりは68年2・26闘争を見物に行ったのが最初です。機動隊のなりふりかまわない暴力に腹の底から怒りを覚えた。それから農閑期に援農に行ったり三里塚闘争にかかわり始める。そして71年代執行阻止闘争が北総暴動として大爆発した。

その年の12月、成田で千葉県農村青年集会在開かれようとしていた。この集会は日共・民青が三里塚から排除され、三里塚闘争の爆発に危機感をつのらせ、闘争破壊のための集会であった。八街でその準備会があるというので出かけ

ると、萩原進さんも来ていた。萩原さんと会ったのは、そこが初めだった。

青年集会では、空港問題は一切取り上げない。過激派を支持する人は集会に参加させない。「民主主義の名において」などと言い出す。これにはさすがに異論が続出。中には「俺は民青だけどそれはおかしい」と言う者も出てくる始末。民青は自ら墓穴を掘るありさまだった。

当然この集会は青行や周辺住民が乗り込んで粉砕され、この闘いをキッカケにして、空港問題を正面にすえた自分達の青年集会が山口武秀、むのたけじ、渋谷定輔氏を講師に迎えられ、これが周辺住民会議へとつながっていった。また周辺の農民だけでなく、全国の農民が三里塚闘争に立ちあがっていた。

三里塚闘争はこうした農民を必然的に結びつけた。そして全国の農民交流会として交流を深めていく中で、3・11を契機として全国農民会議結成されていく。全国農民会議は三里塚闘争の中で生まれ、市東さんの闘いの中に、三里塚闘争50年の闘いの中に、勝利の核心がある。三里塚農民の敵は全国農民の敵、安倍政権打倒へ、全国農民会議は三里塚と共に闘う。

斎藤郁真・全学連委員長

三里塚闘争50周年、おめでとうございます。私は今27歳ですから、50年とは私には想像のつきようのない年月です。そしてそれだけの年月にわたって闘いが続き、国家権力の執念をもってしてもひとつの空港が完成しない。労働者・農民が腹を固め、団結した闘争がいったいどれほどの力を持ちうるのか、その最高の表れこそが三里塚闘争だと思います。

「50年間国策と闘って空港ひとつ完成させない」という三里塚闘争がかちとった客観的事実は反原発闘争や沖縄・反基地闘争が進むべき闘争勝利の展望を明らかにしています。

三里塚闘争50周年を、三里塚闘争が貫いた運動の原則・魂を全社会に訴え、広めるきっかけにしていく。その名誉を全学連が共に担えることを誇りに思います。

今、歴史的な経済危機・大恐慌の下、第三次世界大戦前夜ともいえる状況が世界を覆って

います。今年2月末、在韓米軍司令官カーティスは米議会で「今、朝鮮半島で衝突が起これば第二次大戦に匹敵する事態になる」と述べながら、3月から4月にかけて原子力空母2隻をも動員した史上最大規模の米韓合同軍事演習を朝鮮半島近海で行いました。

とんでもない戦争挑発行為であり、アメリカ帝国主義の狙いは明白です。日本も兵站基地としての役割を担い、事実上この演習に参加しました。中東でも石油利権の再編をかけた泥沼の戦争が続いています。

三里塚農民が空港反対闘争を貫くなかで示した生き方は、この時代に対する回答です。戦争は実際には帝国主義者自身が遂行できるものではありません。

兵士の食料は結局農民がつくっているように、戦争の実体はどこまでも労働者民衆自身の労働の成果にほかなりません。「生きていくためにはしかたない」「仕事だからやるしかない」……。

人間労働が他人に所有される社会、つまり資本主義社会の矛盾の極み現代戦争です。市東孝雄さんが空港会社から1億8千万円もの買収金を提示され、「農業では一生稼げない金額」だと言われたことに対して「1本100円の大根を売って生きていくのが自分の人生だ」と答えたエピソードは農民の誇りを示したものとどまらず、戦争に対する人間としての最高の回答ではないか。三里塚闘争の真髄は「人が働いて生きること」そのものを武器とした誇りの中にあるのだと、私は考えています。

全学連が学生自治会にこだわり、ストライキの復権に挑戦している地平は、三里塚闘争との連帯、そしてそれと共に闘ってきた動労千葉をはじめとする階級的労働運動との連帯の歴史なくしてありえなかったはずです。

時代の根底的な変革へ、これからも共に闘いましょう。

小関恭弘（全国農民会議）

50年を迎え、再び全国の農民に三里塚を伝え、新たな世代の陣形を共に作りましょう。

二期阻止全国共闘

市東さんの農地強奪阻止！

第3滑走路計画粉碎！

「24時間空港化」阻止！

「用地内」農民の利害に立脚し、三里塚闘争の勝利に向かって、ともに闘っていきます。

鰻名一男（新潟地域一般労働組合委員長）

7月4日に50周年を迎える三里塚闘争、「絶対反対、農地死守、実闘争を掲げて闘う空港反対闘争」には全国から無数の老若男女が駆けつけ、多くの人が人生をかけて闘いました。

私は、高校を卒業して働き始めて1年後の19歳で初めて三里塚の地を訪れました。1977年4・17全国集会です。私の実家も専業農家であり、農地を奪って空港をつくることにとんでもない不正義、権力の横暴を感じ、労農連帯を掲げて闘う反対同盟の闘いに共感したからです。

以来、「成田用水」を使った1983年の3・8分裂攻撃と闘い、二期工事阻止の85年10・20闘争への決起と逮捕・起訴、3年余の未決拘留を経験しました。労働者として三里塚闘争に人生をかけた半生に悔いはありません。それどころか絶対反対を掲げて闘い続ける三里塚闘争から多くのものを学んだことが現在の新自由主義との闘い、合同労組の拠点づくりの闘いに活かされていると思います。安保戦争法案反対に決起した1000万人に勝利の道筋を示すものこそ三里塚50年の闘いであり、国鉄分割・民営化反対の国鉄闘争40年の闘いです。これからも勝利まで共に闘います。

矢田三恵

50年間の闘いの勝利、継続の上に、私たち、広島の高陽第一診療所労働組合のたたかひもあります。

ともに労働者・農民・人民の社会をつくりましょう！！

【石木ダム絶対反対同盟からのメッセージ】

先日は、お手紙ありがとうございました。

先日、テレビで池上彰のニュース解説番組を見ていましたら、3・27全国総決起大会のことが放映され、第3滑走路計画とか、市東孝雄さんのインタビューなどが流されていました。

先祖伝来受け継いだ大切な農地を守り抜く気持ちは、我々も同じです。

メッセージの件ですが、私なりに声明書を書いてみました。

これからも、共に闘いましょう。7・3東京集会のご盛會を心からお祈りします。

石木ダム絶対反対同盟 岩本宏之

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

声明書

石木ダム建設計画が持ち上がったのは、今から約45年前のことでした。隣の佐世保市の水源確保が大きな目的でした。

長崎県が大村湾の北部沿岸に約150haの工場団地を造成したが、水がないので、工場が誘致出来ない。…工業用水として、1日2万トン、更に佐世保市の将来の人口増による水不足を解消するため1日4万トン合わせて1日6万トン取水するとのことでした。

その後、人口減少に伴い2万トンを見直し1日4万トンに削減されました。

昭和47年には、ダム建設の予備調査が実施されましたが、その予備調査の説明会において、地元から「なぜ石木ダムを多目的ダムにするのか。」との質問に対して、県は、「利水だけより治水を加えた方が国から、多額の補助が受けられるからです。」と回答がありました。

今では、150haの工場団地には、大型観光施設、ハウステンボスが立地して、1日約3千トンの水で足りているとのことでした。

また、佐世保市長は利水計画について、「佐世保市は慢性的な水源不足で給水制限に至ら

ずとも戦後、2年に一度の渇水の危機に瀕しているのが実情であります。」と説明していますが、平成6年の全国的な大渇水から、22年経過しても給水制限をすることなく最近の水源貯水率は、90%前後を保って、水余りの現象が続いています。更に、全国的にも人口が減少していますが、特に佐世保市の人口減少は著しく、25年先には25万人の人口が19万3千人と推測されています。

一方、川棚町の治水については、多額の国庫補助を受けるための付け足しであることは言うまでもありませんが、県知事の発言によれば、「100年に1度発生すると想定される（最大1時間雨量110mm。1日雨量400mm）洪水調節のために石木ダムを建設するのだと、過去に発生した川棚川の洪水については、今の河川改修が終われば、石木ダムがなくても安全に流下出来ます。」と明言しています。

ところが、昭和55年8月29日には、川棚川で、最大1時間雨量110mm・1日の雨量511mmの豪雨が発生しています。

要するに日量511mmでも河川改修が終われば安全に流下できるということになりますので、石木ダムを治水目的で造る必要は、なくなります。

これらのことから、石木ダム建設の目的は、利水、治水にしても既に破綻しています。県は、昭和57年に述べ7日間、数百名の機動隊を導入し、強制測量を実施したこともありました。

今から、14～5年前移転対象世帯（水没世帯及び少数残存世帯）67世帯の内約8割が移転しましたが、後に残った13世帯約60名は今も絶対反対闘争を続けています。

県は、13世帯とは、話し合いもできなくなり無駄な時間ばかりが経過するため、残りの全ての土地を強制収用するため、平成21年11月9日に国に事業認定の申請を行いました。

そして、平成25年9月に漸く事業認定が認可されました。国のお墨付きを得た県は、平成26年8月に反対地権者の4世帯の農地の一部を収用委員会に裁決申請しました。

そして、収用委員会は、平成27年10月末日

までに農地を明け渡すように裁決しました。強制的に登記簿が国の名義に書き換えられましたが、地権者は補償金を受け取らず、法務局に供託されています。

名義は、替えられても実際の所有者は、変わりませんので現在も耕作を続けています。その後、4世帯の家屋と土地の裁決申請が受理され、現在審理中ですが、我々も、その収容委員会の審理の開催をこれまで5回阻止しています。

更に5月11日に残り9世帯全ての土地と家屋が裁決申請され、6月10日に受理され、6月20日告示がなされています。

これから収用委員会での審理が一方的に進められ、やがて、明け渡しの裁決がなされる予定ですが、私達は家や農地など明け渡す訳にはいきません。

農地は、収用されても、持ち出しは出来ません。いつまでも耕作を続けるつもりです。家を明け渡せと言われても、どこにも行くところはあります。

また、私達は平成27年11月に国を被告として事業認定の取り消しを求めて訴訟中です。

それと合わせて付け替え道路工事中止を求めて仮処分の申し立てを行っています。

裁判の結果がどうなりますか判りませんが、例え家や土地が強制収用されても、今まで通り、13世帯60名が1つの大きな家族のように助け合い、励まし合って、再び機動隊を導入しての行政代執行が行われても、私達は、自分達の生命、財産、そして、かけがえのない美しい自然（ふるさと）を守り続けるつもりです。どうか、私たちの闘いにご理解とご支援をお願いします。

【反対同盟から】

事務局員 伊藤信晴

1966年6月22日、佐藤・友納会談で富里から三里塚へと空港建設案が内定し、その十日後の7月4日に閣議で決定されました。まさに地元住民にとって驚天動地・茫然自失の状態にたたきこまれたのです。問答無用の政府のやり方に6月28日三里塚、30日芝山で反対同盟が結成され、7月10日に三里塚芝山連合空港反対同盟が発足しました。

あれから50年、多くの先輩諸氏の苦闘激闘、さらに全国の労働者学生の皆さんの献身的な闘いにささえられて今日を迎えていることに心から感謝いたします。

いま三里塚では市東さん一家が戦前戦後から100年にわたって守り抜いた肥沃な農地を、農地法をもって強奪せんとする攻撃がかけられています。断じて許すことはできません。さらに第3滑走路計画が脱落派の相川・石毛を先兵にすすめられています。

沖縄においては、米軍軍属による女性殺害事件が発生しました。全県民が「我慢の限界だ」と立ち上がっています。にもかかわらず日帝安倍政権は辺野古新基地建設を強行しようとしています。福島では、177人もの甲状腺がんの患者が出ているにもかかわらず、「放射能による影響とは考えにくい」とうそぶいて原発再稼働をすすめています。安倍政権は民衆をまもることはできません。

それどころか憲法を改悪し労働者・農民の諸権利を奪い、1パーセントの資本家どもを延命させようとしているのです。

動労千葉前委員長の中野洋さんは、閣議決定4ヵ月後の11月3日、日本共産党の妨害をはねのけて三里塚現地で集会を開催しました。それから一貫して共闘をつづけ、78年開港攻撃にたいして、ジェット燃料貨車輸送阻止闘争に決起し、ストライキで総武線の電車をすべてストップさせました。労働者が生産現場をおさえることの素晴らしさを感動をもっておしえてもらいました。市東さんの農地を守る闘いも労働者の闘いもともに生産現

場を守りきる闘いです。

ゼネストを闘いパククネ大統領を選挙で敗北させた韓国・民主労総とも十年近く交流を重ね、動労千葉とともに国際連帯の拡がりをつくりだしています。「労農同盟で世の中を変えよう」と言いのこした萩原進事務局次長をはじめ闘い半ばでたおれた多くの先輩諸氏に、三里塚50年の勝利を報告するとともにあらためて三里塚軍事空港粉砕！農地死守・実力闘争で闘い抜くことを宣言します。

事務局員 太郎良陽一

我々三里塚・芝山連合空港反対同盟は、1966年7月10日に結成し、今年で50年の節目を迎える。この50年の空港反対の闘いは、千葉・北総大地から、全国一世界に伝わり、それは全国の農民にとどまらず労働者・市民・学生・非差別人民大衆の闘いが合流し、空港反対の現地実力闘争で国家権力を追い詰めてきました。そして今も尚我々は空港の完成をはばんでいます。

「空港をこの地にもってきたものが憎い」「闘魂必成」「闘えば必ず勝つ」「霞ヶ関に攻め上ろう」と、三里塚闘争を生涯かけて闘った反対同盟の先達の闘魂と無念を胸に刻み、市東さんの「農地決戦」－「第三滑走路建設攻撃」を我々反対同盟は勝利する為に実力で闘います。

三里塚は今、〈空港24時間化・B滑走路1000m延伸・第三滑走路建設計画〉が表面化しています。政府・空港会社は、またしても地元住民の生活と肥沃な農地を金とコンクリートで破壊しようとしているのです。全国の皆さん、この第三滑走路建設推進の先導役として、国一空港会社に売り込む元脱落派事務局局長石毛博道と芝山町長相川勝重を断じて許してはなりません。この二人は、元「地域振興連絡協議会」事務局局長石井新二とともに、〈空港反対－非妥協・実力闘争路線〉から〈政府との対話－協力共存路線〉に誘導する1983年「3・8分裂」と後のシンポー円卓会議を主導した輩であります。

彼らは、これに先だつ1978年、暴露された

元反対同盟事務局次長島寛征らの、政府との秘密交渉を、始まりとしている。

シンポ・円卓会議では、闘い続ける我々反対同盟を抹殺し、闘争の幕引きのための茶番劇として、1994年10・11に終演しました。そして、隅谷調査団長に「成田空港問題は社会的に解決された」と声明させたのです。

闘いを内部から崩壊させる切り崩し工作は国家権力の闘争破壊の常とう手段ですが、反対同盟は、根幹で破壊攻撃をうち破ったから勝利してきたのです。

全国の皆さん。我々反対同盟は、50周年を三里塚闘争の新たな闘いの開始として、石毛一相川の推進する第三滑走路建設攻撃を、なんとしても全国全戦線の新たな共闘の力で粉碎しなければなりません。

市東さんの農地決戦が、緊迫しています。市東さんは、親子2代にわたって反対同盟の基本路線を貫いて闘ってきました。そしていま、裁判闘争への注目を訴え、署名活動をやり、沖縄や福島はじめ様々な闘いと結合してきました。全国の安倍打倒を闘う人々からも、共感と支持が寄せられています。

我々反対同盟は、裁判所が不当判決をだし、市東さんの農地強奪に来るなら、実力闘争で闘います。

市東さんの闘いの勝利は、第三滑走路建設粉碎と一体です。50周年を機に現地一全国の新たな隊列の構築に向け労働者・農民・市民・学生・非差別人民大衆、党派、共にたたかきましょう。

三里塚50周年！これから新たな闘いを 婦人行動隊 宮本麻子

私が三里塚の闘いのことを具体的に知ったのは高校3年生の夏休み、街頭での署名でした。自分の住む福島からは遠いところの話と思っていたのですが、話を聞くうちに「死すべきは国家権力」の垂れ幕や鉄塔に黒枠の日の丸を掲げる実力闘争をした強さ、正義性に引き付けられました。親の言う「寄らば大樹の陰」「長いものには巻かれろ」的考えで生きていくしかないのかと悲観的に思っていた若い身には衝撃的でした。

その後、いろいろなことがありました。常に国家権力は闘いをつぶそうとして人の弱みに付け込んだり、破格の条件をつけたり、だましたりして巧みに闘う勢力の力をそぎ落とし分裂を仕掛けてきました。わたしたち、反対同盟は、「農地死守、実力闘争、話し合い拒否」「戦争のための空港は造らせない」「反戦・反核、労働者・学生・人民との連帯」これらを貫いて闘った50年だったと思います。市東さん、萩原さんの魂は確実に引き継がれています。市東さんの農地を守る最高裁5万人署名を積み重ね、最高裁での棄却＝農地強奪をなんとしても阻止したい。

沖縄では6月19日、女性暴行殺害事件に対し怒りの限界を超えたと65000人が集まり基地撤去の集会が持たれました。移設ではなく撤去以外ないと日本政府に対し立ち上がっています。

福島でも5年前の原発事故から子どもの甲状腺がんが多発しているにもかかわらず、放射能の影響とは認めない(!)。線量の高い地域への帰還推進など事故をないものにしようとしています。川内、伊方、高浜原発の稼働・再稼働阻止！ 農民、労働者、学生、市民、皆の怒りを共にして闘いを広げましょう。

資本家や権力者のための政治をする安倍政権を倒し、社会を私たちの手で変えていきましょう。

婦人行動隊 木内敦子

三里塚闘争50年、目に見える激突と目に見えない激突、数々の闘いに私たちは鍛えられてきました。

生命を生む土地は古よりあり、代々耕す人がいます。

そのすぐ上にすぐ横に、力づくで土地を奪った末の空港があり、今日も飛行機が離発着している現実があります。

それらは「今」を象徴する風景と言えるのかもしれない。

未来をどうするのか、人はどう生きるのか、問い続け、農地死守の基本を貫き、闘い続けていきます。

【配付資料説明】

●市東さんパンフレット

控訴審闘争時に作成した、市東さんの農地問題を訴えるパンフレット。農地取り上げの概要を知ることができます

●市東さんリーフレット

最高裁緊急5万人署名を呼びかけるリーフレット。署名や賛同を広げていただく際にご活用下さい。

●賛同ニュース

5万人署名は賛同人・賛同団体を募り、ともに署名運動に取り組んで下さることを呼びかけています。賛同していただいた方に送っているニュースです

●三里塚裁判支援運動

反対同盟は現地攻防とともに、裁判闘争を闘っています。三里塚の裁判闘争に勝利するための基金運動です

